

科目名		開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
高齢者看護学実習Ⅰ		3	前後期	必修	3単位	135h
担当教員名		メールアドレス		オフィスアワー		
堀之内 若名		wakana.horinouchi@tohto.ac.jp		学生からの申し出により適時		
楊 恵晴		yang.huiching@tohto.ac.jp				
加藤 寛章		hiroaki.kato@tohto.ac.jp				
授業の概要						
介護老人施設で療養している高齢者を対象に、介護予防や健康維持・増進を目的とした多職種による生活支援について学ぶ。また通所施設に通う高齢者及び家族に対する、施設の果たす役割と看護について理解を深める。						
キーワード	到達目標					
高齢者看護・地域包括ケア・高齢者施設・看護過程	1.施設の役割、機能、地域の特徴について理解することができる 2.施設を利用する高齢者の身体・心理・社会的特徴を多面的に理解することができる 3.受け持ち利用者の加齢変化・疾病・障害を理解することができる 4.受け持ち利用者の生活の質の維持・向上に向け、計画を立案し、援助することができる。 5.高齢者を対象とするケアにおける保健・医療・福祉の連携の必要性を理解し、その中での看護職の役割について理解することができる 6.高齢者ケアにおける倫理観を学ぶ					
学習内容						
【実習場所】 介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、介護医療院 【実習方法】 受け持ち利用者1名を対象とした看護過程を展開する実習を行う。 詳細については、オリエンテーションにて伝達する。配布する高齢者看護学実習要項を参照すること。						
受講要件						
2年次後期までの必修科目の単位をすべて習得していること						
評価						
実習記録（事前課題を含む）		その他			合計	
80%		20%			100%	
教員からのメッセージ						
超高齢社会において、倫理観を兼ね備えた高齢者ケアが求められています。地域包括ケアが促進されるいま、地域在住高齢者、ならびに施設で生活する高齢者や介護者への理解を深め、保健・医療・福祉の連携や看護職の役割について学びましょう。						